

タクシーが乗車拒否 静岡病院スタッフ

2020年4月25日 02時00分 (5月27日 05時34分更新)

◆「差別」という禍

新型コロナウイルス感染拡大が続く中、最前線の現場で奮闘する医療従事者らが差別や偏見にさらされ、問題化している。県内でも、タクシー乗車や子どもの保育施設登園を拒否される関係者が出てきた。外出自粛が呼び掛けられる中、県外ナンバーの車が傷つけられるケースも。専門家が警鐘を鳴らす事態となっている。

静岡市の田辺信宏市長は二十四日の会見で、看護師が三月下旬に新型コロナウイルスに感染したことが確認された市立静岡病院のスタッフがタクシーの乗車拒否などに遭っていると明らかにした。静岡赤十字病院の医師も感染が確認されており、市は、同様の事例がほかにはないか調べている。



スタッフがタクシーの乗車拒否などに遭った静岡市立静岡病院＝静岡市葵区で

市によると、静岡病院のスタッフが夜勤上がりの遅い時間帯に帰宅する際にタクシーを呼んだところ、「病院勤務」を理由に配車を断られたほかに、他の複数の病院でも、スタッフの子どもが保育施設への登園を拒否されたり、同居家族が勤め先から休むよう指示されたりしたという。

田辺市長は「市民の安心安全のために日夜奮闘する医療従事者の心を折る行為であり、医療現場自体が崩壊しかねない」と危機感をあらわにした。

県タクシー協会によると、感染症への罹患（りかん）が疑われる場合は乗車拒否できるが、最近は利用者減で夜間帯の営業を縮小する事業者も増えており、そうした理由も考えられるという。

協会の担当者は、各社の運転手は手洗いや車内の換気を徹底しているとして、「静岡病院の報告は入っておらず具体的な状況は把握していないが、第一線で働くドライバーがナーバスになっているのは事実だ」と話した。

（五十幡将之）

◆県外ナンバーの車4台に傷 伊東市

伊東署は24日、伊東市内の温泉施設駐車場で、近隣の県外ナンバーを含む乗用車4台が相次いで傷つけられているのが見つかったと発表した。23日正午～午後6時に傷つけられたとみられ、署は器物損壊事件として調べている。

署によると、鋭利なもので引っかいたような傷が車体側面などにあった。施設を利用した被害者の1人が気づき、通報。近くの車からも同様の傷が見つかったという。

県内への来訪自粛が呼び掛けられる中で県外ナンバーの車などが狙われたことから、署は、嫌がらせの可能性も含めて捜査している。